

Dell EMC PowerEdge T140

技術仕様

メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 Dell Inc. その関連会社。不許複製・禁無断転載。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 Dell EMC PowerEdge T140 システムの概要	5
コンピュータの正面図.....	6
システムの背面図.....	7
2 技術仕様	9
シャーシ寸法.....	10
システムの重量.....	10
プロセッサの仕様.....	10
PSU の仕様.....	11
冷却ファンの仕様.....	11
システムバッテリーの仕様.....	11
拡張カードの仕様.....	11
メモリの仕様.....	12
ストレージコントローラの仕様.....	12
ドライブの仕様.....	12
ドライブ.....	12
オプティカルドライブ.....	12
ポートおよびコネクタの仕様.....	13
USB ポートの仕様.....	13
シリアル ネットワークの仕様.....	13
ビデオの仕様.....	13
環境仕様.....	13
標準動作温度.....	15
動作時の拡張温度.....	15
粒子状およびガス状汚染物質の仕様.....	16
温度に関する制限のマトリックス.....	16
3 システム診断およびインジケータコード	18
システム正常性とシステム ID インジケータコード.....	18
NIC インジケータコード.....	18
非冗長ケーブル接続式電源装置ユニットのインジケータコード.....	19
システム診断プログラムの使用.....	20
Dell 組み込み型システム診断.....	20
4 困ったときは	22
リサイクルまたは End-of-Life サービス情報.....	22
デルへのお問い合わせ.....	22
QRL によるシステム情報へのアクセス.....	22
Dell EMC PowerEdge T140 システム用 QR コード.....	23
SupportAssist との自動サポートを受信.....	23

5 安全にお使いいただくために.....	24
----------------------	----

Dell EMC PowerEdge T140 システムの概要

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、以下をサポートするタワーサーバです。

- Intel Xeon Scalable プロセッサ 1 個
- DIMM スロット (4)
- ケーブル接続式 AC 電源装置ユニット
- 最大 4 台の 3.5 インチのケーブル接続式 SAS または SATA ドライブ

サポートされている PSU の詳細については、「[ドライブ仕様](#)」の項を参照してください。

① **メモ:** SAS、SATA ドライブおよび SSD のすべてのインスタンスは、特に指定のない限り、本文書内ではドライブと呼ばれます。

トピック :

- [コンピュータの正面図](#)
- [システムの背面図](#)

コンピュータの正面図



図 1. コンピュータの正面図

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------------------|
| 1 | 電源ボタン | 2 | システムの正常性と ID インジケータ |
| 3 | USB 3.0 ポート | 4 | iDRAC ダイレクト マイクロ USB ポート |
| 5 | 光学ドライブ (オプション) | | |

ポートの詳細については、「[ポートおよびコネクタの仕様](#)」の項を参照してください。

システムの背面図

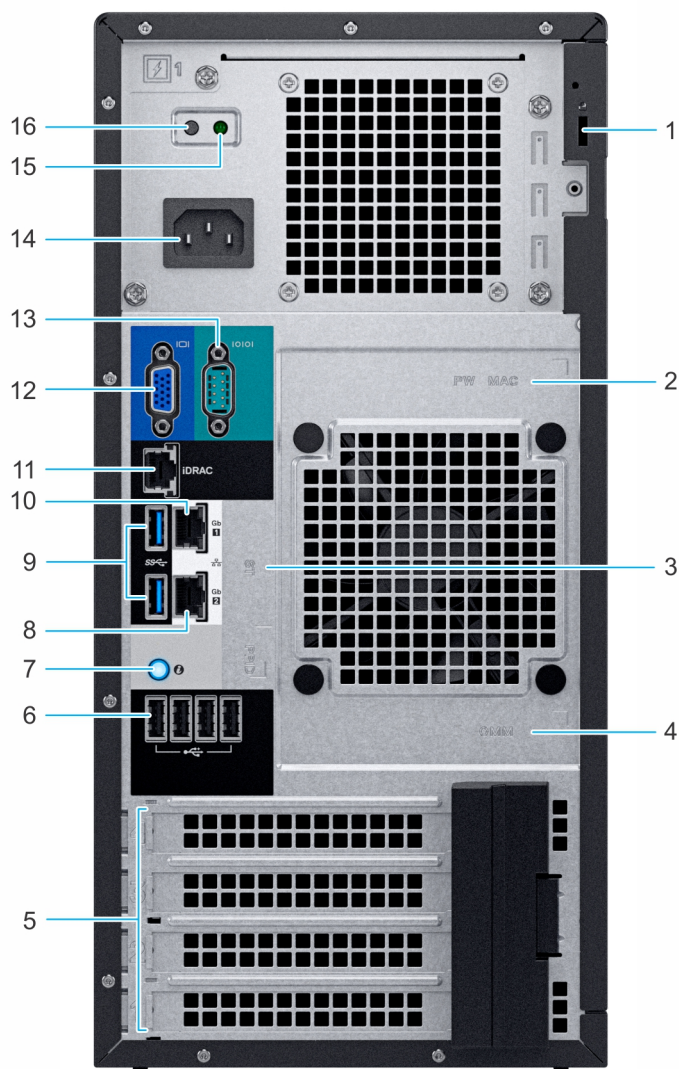


図 2. システムの背面図

- | | | | |
|----|-------------------------------|----|--------------------------------------|
| 1 | セキュリティケーブルロック | 2 | iDRAC MAC アドレスと iDRAC セキュア パスワード ラベル |
| 3 | サービスタグ、エクスプレス サービスコード、QRL ラベル | 4 | OMM (OpenManage Mobile) ラベル |
| 5 | PCIe 拡張カードスロット (4) | 6 | USB 2.0 ポート (4) |
| 7 | システム識別ボタン | 8 | NIC ポート (Gb 2) |
| 9 | USB 3.0 ポート (2) | 10 | NIC ポート (Gb 1) |
| 11 | iDRAC 専用 NIC ポート | 12 | VGA ポート |
| 13 | シリアルポート | 14 | 電源装置ユニット |

① | **メモ:** ポートとコネクタの詳細については、「[ポートおよびコネクタの仕様](#)」の項を参照してください。

技術仕様

本項では、お使いのシステムの技術仕様と環境仕様の概要を示します。

トピック：

- シャーシ寸法
- システムの重量
- プロセッサの仕様
- PSU の仕様
- 冷却ファンの仕様
- システムバッテリーの仕様
- 拡張カードの仕様
- メモリの仕様
- ストレージコントローラの仕様
- ドライブの仕様
- ポートおよびコネクタの仕様
- ビデオの仕様
- 環境仕様

シャーシ寸法

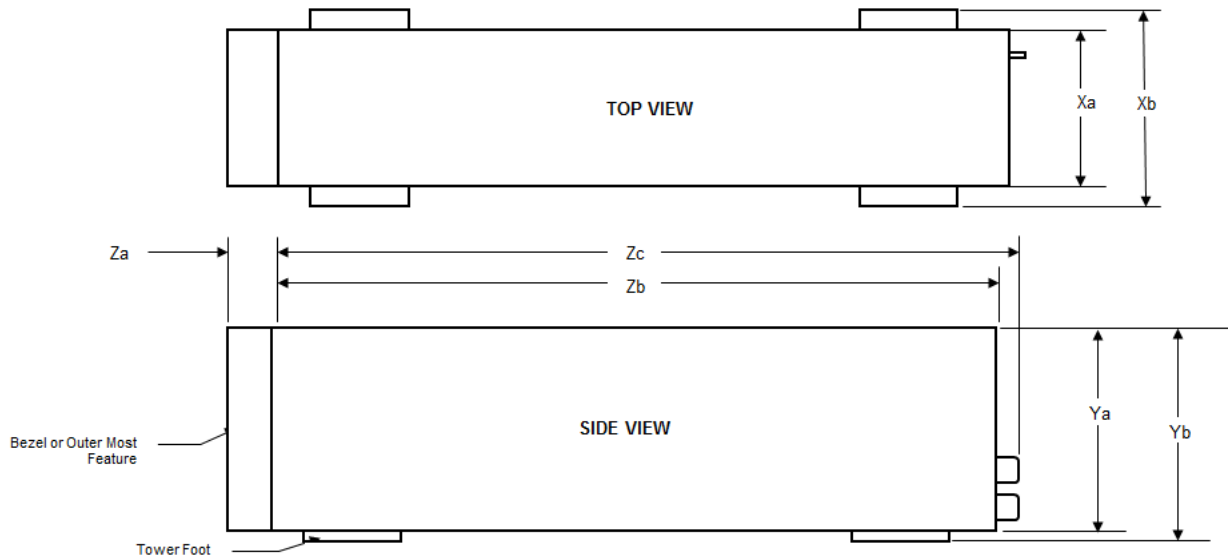


図 3. シャーシ寸法

表 1. Dell EMC PowerEdge T140 システムの寸法

Xa	Xb	Ya	Yb	Za	Zb	Zc
175 mm (6.89 インチ)	該当なし	360 mm (14.17 インチ)	362.9 mm (14.29 インチ)	ベゼル付き : 35.0 mm (1.38 インチ) ベゼルなし : NA	400.0 mm (15.75 インチ)	418.75 mm (16.49 インチ)

システムの重量

表 2. Dell EMC PowerEdge T140 システムの重量

システム構成	最大重量 (すべてのドライブを含む)
4 x 3.5 インチ ドライブ	11.84 kg (26.10 ポンド)

プロセッサの仕様

表 3. Dell EMC PowerEdge T140 プロセッサの仕様

サポートされるプロセッサ	サポートされているプロセッサ数
Intel Xeon Scalable プロセッサ	1回

PSU の仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、最大 1 台の AC ケーブル接続式 PSU (電源装置ユニット) をサポートします。

表 4. Dell EMC PowerEdge T140 PSU の仕様

PSU	クラス	熱消費 (最大)	周波数	電圧	AC		DC	現在
					高ライン 100 ~ 240 V	低ライン 100 ~ 140 V		
365 W AC	Gold	1908 BTU/時	50/60 Hz	100 ~ 240 V AC、オートレンジ	365 W	該当なし	該当なし	5 A

① | **メモ:** 熱消費は PSU のワット定格を使用して算出されています。

① | **メモ:** このシステムは、相間電圧が 240 V 以下の IT 電力システムに接続できるようにも設計されています。

冷却ファンの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、次をサポートしています。

- システムの背面にあるシステム冷却ファン 1 台。
- ヒートシンク上にあるプロセッサ冷却ファン 1 台。

① | **メモ:** システム構成を選択またはアップグレードする場合は、最適な電力使用を達成できるように、Dell.com/ESSA の Dell Energy Smart Solution Advisor でシステムの消費電力を検証してください。

システムバッテリーの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、CR 2032 3.0V コイン型リチウム電池システム バッテリーをサポートします。

拡張カードの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、最大 4 個の PCIe (PCI Express) Generation 3 をサポートしています。

表 5. システム基板でサポートされている拡張カード スロット

PCIe スロット	プロセッサの接続	PCIe スロットの高さ	PCIe スロットの長さ	スロット幅
スロット 1 (Gen3)	プロセッサ	フルハイト	ハーフレンジス	x8 スロットの x8 リンク
スロット 2 (Gen3)	プロセッサ	フルハイト	ハーフレンジス	x16 スロットの x8 リンク
スロット 3 (Gen3)	プラットフォームコントローラ ハブ	フルハイト	ハーフレンジス	x1
スロット 4 (Gen3)	プラットフォームコントローラ ハブ	フルハイト	ハーフレンジス	x8 スロットの x4 リンク

① | **メモ:** 拡張カードはホットスワップ対応ではありません。

メモリの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、動作を最適化するために、次のメモリ仕様をサポートします。

表 6. メモリの仕様

DIMM のタイプ	DIMM のランク	DIMM の容量	最小 RAM	最大 RAM
UDIMM	シングルランク	8 GB	8 GB	32 GB
		16 GB	16 GB	64 GB
	デュアルランク	8 GB	8 GB	32 GB
		16 GB	16 GB	64 GB

ストレージコントローラの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、次のコントローラ カードをサポートしています。

表 7. Dell EMC PowerEdge T140 システム コントローラ カード

内部コントローラ	外部コントローラ
<ul style="list-style-type: none">PERC H730PPERC H330HBA330	<ul style="list-style-type: none">12Gbps SAS Ext.HBA

ドライブの仕様

ドライブ

Dell EMC PowerEdge T140 システムは次をサポートしています。

- 4 x 3.5 インチの SAS、SATA ドライブ
- ① | **メモ:** 4 TB (以上) のドライブ容量を持つシステムの場合は、温度制御のために PERC が必要です。

オプティカルドライブ

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、次のオプティカル ドライブをサポートしています。

表 8. サポートされているオプティカル ドライブのタイプ

サポートされているドライブのタイプ	サポートされているドライブ数
専用 SATA DVD-ROM ドライブまたは DVD+/-RW ドライブ	1回

ポートおよびコネクタの仕様

USB ポートの仕様

表 9. Dell EMC PowerEdge T140 システムの USB ポートの仕様

前面パネル	背面パネル	内蔵 USB
<ul style="list-style-type: none">USB 3.0 対応ポート (1)iDRAC Direct 用 microUSB 2.0 対応ポート (1) <p>① メモ: microUSB 2.0 対応ポートは、iDRAC Direct または管理ポートとしてのみ使用できます。</p>	<ul style="list-style-type: none">USB 3.0 対応ポート (2)USB 2.0 対応ポート (4)	<ul style="list-style-type: none">内蔵 USB 3.0 対応ポート (1)

シリアル ネクタの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、背面パネルでシリアル コネクタ 1 個をサポートしており、このコネクタは、9 ピンコネクタ、DTE (データ端末装置)、16550 準拠です。

ビデオの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、容量 16 MB の Matrox G200eR2 グラフィックス カードをサポートします。

表 10. サポートされているビデオ解像度のオプション

解像度	リフレッシュレート	色深度 (ビット)
640x480	60, 70	8, 16, 24
800x600	60, 75, 85	8, 16, 24
1024x768	60, 75, 85	8, 16, 24
1152x864	60, 75, 85	8, 16, 24
1280x1024	60, 75	8, 16, 24

環境仕様

① **メモ:** 環境証明の詳細については、Dell.com/support/home のマニュアル&ドキュメントにある *Product Environmental Datasheet* (製品環境データシート) を参照してください。

表 11. 温度の仕様

温度	仕様
ストレージ	-40 ~ 65°C (-40 ~ 149°F)
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35°C (50 ~ 95°F), 装置への直射日光なし。

温度	仕様
Fresh Air	外気の詳細については、「 拡張動作温度 」の項を参照してください。
最大温度勾配 (動作時および保管時)	20 °C/h (36 °F/h)

表 12. 相対湿度の仕様

相対湿度	仕様
ストレージ	最大露点 33 °C (91 °F) で 5 ~ 95 % の相対湿度。 空気は常に非結露状態である必要があります。
動作時	最大露点 29 °C (84.2 °F) で 10 ~ 80% RH。

表 13. 最大振動の仕様

最大耐久震度	仕様
動作時	0.26 G _{rms} (5 ~ 350 Hz) (全稼働方向)
ストレージ	1.88 G _{rms} (10Hz ~ 500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)

表 14. 最大衝撃パルス仕様

最大衝撃パルス	仕様
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス、11 ミリ秒以下で 6 G。
ストレージ	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G。

表 15. 最大高度の仕様

最大高度	仕様
動作時	3048 m (10,000 ft)
ストレージ	12,000 m (39,370 フィート)

表 16. 動作時温度ディレーティングの仕様

動作時温度ディレーティング	仕様
最高 35 °C (95 °F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 300 m (547 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。
35 ~ 40°C (95 ~ 104°F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 175 m (547 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。
40 ~ 45°C (104 ~ 113°F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 125 m (547 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。

標準動作温度

表 17. 動作時の標準温度の仕様

標準動作温度	仕様
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35°C (50 ~ 95°F)、装置への直射日光なし。

動作時の拡張温度

表 18. 動作時の拡張温度の仕様

動作時の拡張温度	仕様
継続動作	<p>相対湿度 5 ~ 85%、露点温度 29°C で、5 ~ -40°C。</p> <p>① メモ: 標準動作温度 (10~-35°C) の範囲外では、下は 5°C まで、上は 40°C までで、システムは継続的に動作できます。</p> <p>35 ~ 40°C の場合、950 m (3,117 フィート) を超える場所では 175 m (319 フィート) 上昇するごとに最大許容温度を 1°C (1°F) 下げます。</p>
年間動作時間の 1 パーセント以下	<p>相対湿度 5 ~ 90 パーセント、露点温度 29°C で、-5 ~ -45°C。</p> <p>① メモ: 標準動作温度範囲 (10 ~ -35°C) 外で使用する場合は、最大年間動作時間の最大 1% まで -5 ~ 45°C の範囲で動作することができます。</p> <p>40 ~ 45°C の場合、950 m (3,117 フィート) を超える場所では 125 m (228 フィート) 上昇するごとに最大許容温度を 1°C (1°F) 下げます。</p>

① **メモ:** 拡張温度範囲で動作させると、システムのパフォーマンスに影響が生じる場合があります。

① **メモ:** 拡張温度範囲でシステムを使用している際に、システム イベントログに周囲温度の警告が報告される場合があります。

動作時の拡張温度範囲に関する制限

- 5°C 未満でシステムのコールドブートを行わないでください。
- 動作温度は最大高度 3048 m (10,000 フィート) を想定しています。
- 非冗長電源装置が 1 台必要です。
- システム ファンが 1 台必要です。
- テル認定外の周辺機器カードおよび / または 25 W を超える周辺機器カードは非対応です。
- GPU は非対応です。
- テープ バックアップ ユニツトはサポートされません。
- 4 TB (以上) のドライブ容量を持つシステムの場合は、温度制御のために PERC が必要です。

粒子状およびガス状汚染物質の仕様

次の表は、粒子状およびガス状汚染物による IT 装置の損傷および/または故障を避けるために役立つ制限を定義しています。粒子状またはガス状の汚染物質物のレベルが指定された制限を超え、その結果として機器が損傷または故障した場合は、環境条件の是正が必要になる可能性があります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。

表 19. 粒子状汚染物質の仕様

粒子汚染	仕様
空気清浄	<p>データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。</p> <p>① メモ: この条件は、データセンター環境にのみ適用されます。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。</p> <p>① メモ: データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。</p>
伝導性ダスト	<p>空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。</p> <p>① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>
腐食性ダスト	<ul style="list-style-type: none"> 空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。 空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。 <p>① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>

表 20. ガス状汚染物質の仕様

ガス状汚染物	仕様
銅クーポン腐食度	クラス G1(ANSI/ISA71.04-1985 の定義による)に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。
銀クーポン腐食度	AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。

① **メモ:** 50% 以下の相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

温度に関する制限のマトリックス

表 21. 温度に関する制限のマトリックス

周囲	25°C	30°C	35°C
プロセッサ	制限なし	制限なし	制限なし
DIMM	制限なし	制限なし	制限なし

周囲	25°C	30°C	35°C
ドライブ	制限なし	制限なし	制限なし
カード	制限なし	制限なし	制限なし

システム診断およびインジケータコード

システムの前面パネルにある診断インジケータには、システム起動時にシステムステータスが表示されます。

トピック：

- システム正常性とシステム ID インジケータコード
- NIC インジケータコード
- 非冗長ケーブル接続式電源装置ユニットのインジケータコード
- システム診断プログラムの使用

システム正常性とシステム ID インジケータコード

システムの正常性とシステム ID インジケータは、お使いのシステムの前面パネルにあります。



図 4. システムの正常性とシステム ID インジケータ

表 22. システム正常性とシステム ID インジケータコード

システムの正常性とシステム ID インジケータコード	状態
青色に点灯	システムがオンにするには、システムが正常に電源が入っていること、およびシステム ID を示します。モードはアクティブでない。システムの正常性とシステム ID ボタンのシステム ID モードに切り替えます。を押します。
青色の点滅	システム ID のモードがアクティブであることを示します。システムの正常性とシステム ID ボタンは、システムの正常モードに切り替えます。を押します。
橙色に点灯	システムがフェイルセーフモードに失敗したことを示します。問題が解決しない場合は、「困ったときは」の項を参照してください。
橙色に点滅	システムが、障害が発生していることを示します。具体的なエラー メッセージについては、システム イベントログを確認してください。システム ファームウェア、およびシステム コンポーネントを監視するエージェントによって生成されたイベント メッセージおよびエラー メッセージについての情報は、 qrl.dell.com の「Error Code Lookup」ページを参照してください。

NIC インジケータコード

システムの背面の各 NIC には、アクティビティとリンク状態についての情報を示すインジケータがあります。アクティビティ LED はデータが NIC 経由で、流れるとリンクの LED インジケータは、接続しているネットワークの速度を示した場合のインジケータを示します。

起動マネージャからの組み込み型システム診断プログラムの実行

お使いのシステムが起動しない場合に、組み込み型システム診断プログラム (ePSA) を実行します。

- 1 システムの起動中に、F11 を押します。
- 2 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、**System Utilities (システムユーティリティ) > Launch Diagnostics (Diagnostics (診断) の起動)** と選択します。
- 3 または、F10 を押して、システムが起動したときに選択します。**ハードウェア診断を > 実行します。ハードウェア診断**を押します。
ePSA Pre-boot System Assessment (ePSA 起動前システムアセスメント) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

Dell Lifecycle Controller からの組み込み型システム診断プログラムの実行

- 1 システム起動中に F10 を押します。
- 2 **Hardware Diagnostics (ハードウェア診断)** → **Run Hardware Diagnostics (ハードウェア診断の実行)** を選択します。
ePSA Pre-boot System Assessment (ePSA 起動前システムアセスメント) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

システム診断プログラムのコントロール

メニュー	説明
設定	検知された全デバイスの設定およびステータス情報が表示されます。
結果	実行された全テストの結果が表示されます。
システム正常性	システムパフォーマンスの現在の概要が表示されます。
イベントログ	システムで実行された全テストの結果のタイムスタンプ付きログが表示されます。少なくとも 1 つのイベントの説明が記録されていれば、このログが表示されます。

困ったときは

トピック：

- リサイクルまたは End-of-Life サービス情報
- デルへのお問い合わせ
- QRL によるシステム情報へのアクセス
- SupportAssist との自動サポートを受信

リサイクルまたは End-of-Life サービス情報

一部の国で、本製品の引き取りおよびリサイクル サービスを提供しています。システム コンポーネントを廃棄する場合、Dell.com/recyclingworldwide にアクセスし、該当する国を選択してください。

デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 Dell.com/support/home へ移動してください。
- 2 お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
- 3 カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a **Enter your Service Tag** (サービスタグの入力) フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。
 - b **Submit** (送信) をクリックします。
 さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
- 4 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a 製品カテゴリを選択します。
 - b 製品セグメントを選択します。
 - c お使いの製品を選択します。
 さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
- 5 Dell グローバルテクニカルサポートへのお問い合わせ先詳細：
 - a [グローバル テクニカル サポート](#) をクリックしてください。
 - b **Contact Technical Support (テクニカルサポートに連絡)** ページには、Dell グローバルテクニカルサポートチームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

QRL によるシステム情報へのアクセス

T140 の前面の情報タグにある QRL (クイックリソース ロケーター) を使用して、Dell EMC PowerEdge T140 に関する情報にアクセスできます。お使いのスマートフォンまたはタブレットに QR コードスキャナがインストールされていることを確認します。

QRL には、お使いのシステムに関する次の情報が含まれています。

- ハウツービデオ

- 設置およびサービス マニュアル、機械的概要などの参照資料
 - 特定のハードウェア構成および保証情報に簡単にアクセスするためのシステムのサービスタグ
 - テクニカルサポートや営業チームへのお問い合わせのためのデルへの直接的なリンク
- 1 Dell.com/qrl にアクセスして、お使いの製品に移動する、または
 - 2 システム上、または「QR (クイックリソース) コード」の項で、お使いのスマートフォンまたはタブレットを使用してモデル固有の QR コードをスキャンします。

Dell EMC PowerEdge T140 システム用 QR コード



図 7. Dell EMC PowerEdge T140 システム用 QR コード

SupportAssist との自動サポートを受信

Dell EMC SupportAssist は、お使いの Dell EMC サーバ、ストレージ、およびネットワーク デバイスのテクニカル サポートを自動化する Dell EMC Services のオプションのサービスです。お使いの IT 環境で SupportAssist アプリケーションをインストールしてセットアップすることにより、次のメリットを受けることができます

- **自動問題検知** - SupportAssist はお使いの Dell EMC デバイスを監視し、ハードウェアの問題をプロアクティブかつ予測的に自動的に検出します。
- **ケースの自動作成** - 問題が検出されると、SupportAssist は Dell EMC テクニカル サポートによって自動的にサポートケースを開きます。
- **自動診断収集** - SupportAssist はお使いのデバイスからシステム状態の情報を自動的に収集し、Dell EMC に安全にアップロードします。この情報は Dell EMC テクニカル サポートで問題をトラブルシューティングするために使用されます。
- **プロアクティブな連絡** - Dell EMC テクニカル サポート担当者がサポート ケースについて連絡し、問題を解決するお手伝いをします。

利用できるメリットは、デバイス用に購入した Dell EMC サービス資格によって異なります。SupportAssist に関する情報については、Dell.com/supportassist を参照してください。

安全にお使いいただくために

- ⚠ **警告:** システムを持ち上げる必要のある場合は、必ず 2 人以上で行ってください。けがを防ぐために、決してシステムを 1 人で持ち上げようとしてください。
- ⚠ **警告:** システムの電源が入っている状態でシステムカバーを開いたり取り外したりすると、感電するおそれがあります。
- ⚠ **注意:** システムは、カバー無しで 5 分以上動作させないでください。
- ⚠ **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。Dell の許可を受けていない保守による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属する「安全にお使いいただくために」をよく読み、指示に従ってください。
- ① **メモ:** システム内部のコンポーネントでの作業中は、静電マットと静電ストラップを常に使用することが推奨されています。
- ① **メモ:** 正常な動作と冷却を確保するため、システム内のすべてのベイおよびシステムファンにコンポーネントまたはダミーのいずれかを常時装着しておく必要があります。